

# 第23号 体指だより

平成23年8月発行  
宮崎市体育指導委員連絡協議会

## 平成23・24年度会長挨拶



山本幸徳  
住 吉  
29年8ヶ月

皆様、毎日お忙しい日々を送られてることと思います。暑さに負けず頑張ってください。

今回会長の役職を務めることになりました山本です。会長といたしましては目標に皆仲良く、楽しく、そして明るい体育指導委員の活動を実施していくことです。

笑顔を基本に、何でも言い合い、切磋琢磨して、体指資質向上を目指したいと思っています。

新役員の体制も決まり、動き出しました。皆様の協力無くしては成り立ちません。どうぞよろしく願いいたします。

最近、各地区とも高齢化が進み、地域の中で、いかにすれば活性化できるかを、一緒に考えて活動していきましょう。

### 副会長



本部伴典  
檜  
16年



渡邊成典  
清武  
11年



杉元雅代  
東大宮  
14年

### 事務局



岡留辰郎  
東大宮  
14年

### 会 計



末吉みどり  
瓜生野  
6年

## 平成23年度活動方針

### 体指の地位向上

体指の役割が不明確であり、存在が余り知られていません。本年度は、体指としてして何をすべきか、しっかりと研鑽を積み、地域や宮崎市全体のスポーツ振興の担い手として、活躍出来る様、努力したいと思います。

### 地区体育会と体指の方向性を検討

地区体育会の低迷は益々進んでいます。今後は、体育会、体指、そして新たな組織の「まちづくり推進委員会」との関係構築し、地域のスポーツ振興に尽力していきたいと思ひます。

### 社会体育普及の爲の学校開放への関わり

社会体育施設として学校体育館が、活用されていますが、市内在住、在勤であれば利用出来る様になり、地域性が無くなってきました。又、複数の施設を利用している団体も多く有り、スポーツ少年団の勝利主義に因る練習のやり過ぎもみられます。

利用状況やスポ少の状況など把握し、地域スポーツ振興に従事していきたいと思ひます。

**[みんなのスポーツ]  
全員講読を!**

### スポーツ基本法の施行

平成23年6月24日に「スポーツ基本法」が公布され、平成23年8月24日から施行されます。私達体育指導委員もこれを受け、「スポーツ推進委員」に名称が変わり、それだけでなく、「当該市町村におけるスポーツの推進に係る体制の整備を図るため、社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を有し、及び次項に規定する職務を行うのに必要な熱意と能力を有する者の中から、スポーツ推進委員を委嘱するものとする」と有る様に、資質の向上も余儀なくされます。又、「スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行うものとする。」とあり、さらなる期待が伺えます。

「スポーツの権利」が認められ、益々地域でのスポーツの果たす役割、その担い手である体指のはたす役割も重要になります。体指として何をしなければならないか、今一度真剣に考え、行動して行かなければならないと思ひます。

# <<<平成23年度専門部・監事紹介>>>

## 事業部長



中川 時夫  
大宮  
16年

## 研修部長



松竹 昭彦  
潮見  
6年11ヶ月

## 広報部長



坂永 途美子  
住吉  
6年

## 監事



松元 敏廣  
生目  
19年

## 監事



中武 久美子  
佐土原  
12年6ヶ月

## 事業副部長



羽島 康浩  
江平  
6年

## 研修副部長



福原 美由紀  
櫛  
10年

## 広報副部長



藤田 眞次  
高岡  
9年

役員一同、「スポーツ推進委員」として、何をすべきか、何が残せるか、試行錯誤しながら、微力ではありますが、地域スポーツの振興に役立てる様に、頑張っていきます。  
宜しくお願い致します。

# <<<新人紹介>>>



櫛  
山本 美保



瓜生野  
黒木 浩二



佐土原  
横田 一浩



佐土原  
加藤 保夫



佐土原  
黒木 敦子



佐土原  
時任 砂織



佐土原  
石川 理恵



小戸  
菊池 和義



小戸  
石川 真里子



生目  
日高 正子



生目  
木村 修一



赤江  
田口 浩道



塩見  
長友 裕



田野  
尾割 利秋



東大宮  
浜砂 一子



木花  
吉井 美穂



木花  
佐藤 由美子



大塚  
中田 豊



赤江  
松本 明



木花  
田代 孝尚



清武  
崎田 憲二



住吉  
竹下 幸博

何もわかりませんが、地域スポーツの振興に、そして宮崎市のスポーツ振興に頑張っていきます。  
宜しくお願い致します。

## コーディネーショントレーニング 体験会及び学ぶ会 報告

7月23日 生目の杜アリーナにて、子ども達や高齢者の運動能力を上げる為の講習会が開催されました。午前中は、親子31組が参加し、体験会が行われ、午後は、指導者を対象に、コーディネーショントレーニングの歴史、必要性、効果等々の講習と実技が行われました。

体験会では、わずか2時間でしたが、子ども達の目の輝きや態度の変化に驚きました。コーディネーショントレーニングをこれからの指導に役立てたいと思います。



## 生涯スポーツコーディネーター フォローアップ講習会開催

7月31日 佐土原文化センターにて、地域の実態や住民のニーズに応じた生涯スポーツプログラムの企画や運営に関する講習が開催されました。

私たちはスポーツ推進委員として地域スポーツの総合的な推進のため、『総合型スポーツクラブに大きく関わり連携し推進していくことが求められている』と改めてこの講習会を受講して実感しました。

後半では、班毎に、総合型スポーツクラブ主催のイベント設定し、体指が関係各位との連携役として、プログラム作成を行いました。終了後、発表を行ないましたが、どのプログラムも、皆の知恵が集約され、実現可能なすばらしいものばかりでした。



県中央会場参加者 81名参加 (内 宮崎市体指 36名)

講師 中西 純司(福岡教育大 教授)  
行實 鉄平(徳島大学院 講師)

## 本部体指報告(東北地方太平洋沖地震ボランティア活動)

### 『みやざき・東北応援ボランティアに参加して』 宮崎市体育指導委員 檜地区 本部 伴典

未曾有の大震災をメディアで見聞きし、自分でも何かお手伝いができるのでは、と手を挙げ、7月2日～17日まで、約2週間参加してきました。現地へ行き、実際に自分で目の当たりにすると、余りの惨状に茫然と声もでませんでした。

現場で、災害に遭われた方々や、全国各地から応援に来ているボランティア仲間の話を聞くと、一番大切なことは、皆さんの精神面・心情などをどう受け止め、寄り添いケアしてあげられるかが大きな仕事の部分だと強く感じました。又、善意が押し付けにならないような気配りも必要です。被災した人、してない人、親・兄弟姉妹・子供・肉親身内・友人等を亡くした人、被災した人でも前向きに歩き出した人、まだ何も手に付かない人、仮設住宅に入居した人、そうでない人、被災してなくても仕事がなくなった人等々、それぞれに温度差があります。街がそっくり津波で流され、今までのコミュニティーがなくなった街や自治区がいくつもあり、将来のことよりも今日をどう生きるかに一生懸命な人が多く居られるのです。

仮設住宅への布団・台所・日用品の搬入、避難所での食糧品の配給、船舶部品卸問屋での商品の片付けや錆び落とし、仏壇店での商品の整理・水洗い、私邸でのトイレ・風呂の泥かき清掃・壊れた土蔵の修復、ひよっこりひょうたん島のモデルになった大島では中学生と砂浜の清掃、老舗お茶問屋での床の泥出しや天井の清掃作業等々、貴重な体験をさせていただきました。まだ手つかずの所、処分場所がなくガレキが道の脇や山すそに山積みされ、処分できない車が何十台、何百台と積み重ねられ放置されている光景がいたるところで見受けられます。ボランティアの手がまだ不十分で、これからも継続して多くの人に活動して欲しいと願っています。機会があれば、また参加したいと思っています。ボランティア仲間との出会い、交流も意義深いものでした。

又、私個人の事ではありますが、離れを宿舎として提供していただき、親身になって面倒を見て支えて下さった小山(おやま)ご夫妻に感謝を申し上げます。

最後に、ここでは被災地・被災者・ガレキ・ゴミ等の言葉の使用は好ましくないとされました。ここは故郷であり、ガレキ・ゴミであっても思い出の品や財産である、と……





課長  
御手洗 徹



課長補佐  
仁田脇 七郎



係長  
岡部 卓朗



主任主事  
田中 和美



主任主事  
押川 聡史



主事  
来住 久仁子

## 文化スポーツ課のみなさん

体育指導委員の皆様におかれましては、本市のスポーツ振興はもとより市政全般にわたり、ご理解とご尽力を賜り心から感謝申し上げます。

この度、23名の新任の方々を含む98名の皆様を宮崎市体育指導委員として委嘱させていただきました。新任の皆様には、これまでのスポーツ経験や実績を活かし、本市のスポーツ振興の一翼を担っていただきたいと心からご期待申し上げているところでございます。

また、引き続き委嘱させていただきました皆様には、日頃から市主催のスポーツ大会はもとより、地域におけるスポーツ活動の実践者として、大会等の企画・運営など本市の生涯スポーツの普及にご尽力いただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

今後ともスポーツを通じた「地域のきずなづくり」にご尽力賜りますようお願いいたします。本市といたしましても、市民が「いつでも、どこでも、いつまでも、スポーツに親しむことができる」ことを目標に、スポーツ施設の整備をはじめ、各種スポーツの振興策に鋭意取り組んで参る所存でございますが、生涯スポーツ、地域スポーツの振興には、皆様の力が必要となります。ぜひ、体育指導委員の皆様が一丸となって、各地域、そして宮崎市を盛り上げていただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、体育指導委員の皆様の今後ますますのご活躍を祈念いたしまして、挨拶いたします。

### 清武地区の活動紹介



子ども達の笑顔、えがお o(^o^)o!!!  
楽しそうですね!!

### 30年以上 清武で続けられている 「幼児スポーツ教室」の活動

この教室は幼稚園入園前の幼児2～3才からを対象に、年2回(前期・後期)10回コース・定員30組で清武町体育館にて、毎週水曜日 10:00～11:30 に行われています。5名の女性体育指導員が、発育に応じた基本的な動作の指導を行う事で、幼児期に発達する運動能力向上を目的に活動されています。

発達段階に合わせ、基本的な動作や運動をバランスよく養ってもらう内容で、子供達が楽しみながら体を動かす事による体作りの手助けをして31年目、610回になりました。

30人の母親が我が子の10回の成長を見届けています。

清武 新木るり 体指

<<編集後記>> 「体指だより」は、二年間の市体指協議会・地区体指の活動報告や役立つ情報の掲載に努めてまいります。ご一読をいただけることを願っています。

広報部員：坂永途美子・藤田眞次・坂元孝夫・長友ひとみ・長友秀樹・本部伴典・杉元雅代